



2020年5月28日

各位

会社名 新電元工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 鈴木 吉憲
(コード番号 6844 東証第1部)
問合せ先 経営企画室企画部長 松本 義明
(TEL 03 - 3279 - 4431)

繰延税金資産の取崩し、連結業績予想値と実績値との差異

および剰余金の配当に関するお知らせ

当社は2020年3月期において、繰延税金資産の取崩しを行いました。また、2019年11月1日に公表した業績予想値と本日発表の実績値との間に差異が発生しました。あわせて2020年5月28日開催の取締役会において、2020年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の取崩しについて

当社は2020年3月期および今後の業績動向を総合的に勘案し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、2020年3月期末において繰延税金資産3,922百万円を取崩し、法人税等調整額に計上いたしました。

2. 連結業績予想値と実績値の差異について

2020年3月期通期連結業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	94,100	1,500	1,700	1,400	135.90円
実績値 (B)	92,965	1,757	1,598	△4,156	△403.48円
増減額 (B-A)	△1,135	257	△102	△5,556	
増減率 (%)	△1.2	17.1	△6.0	—	
(ご参考) 前期連結実績 (2019年3月期)	94,703	5,638	5,980	3,876	376.41円

3. 連結業績予想値との差異の理由

売上高は主に半導体市況の低迷が想定以上に続いたため、減少しました。利益面では、インドで電装新製品を投入した効果等により、営業利益が増加した一方で、主に為替が想定よりも円高に推移し為替差損が発生したこと等により、経常利益が減少しました。

親会社株主に帰属する当期純利益では、上記のとおり繰延税金資産を取崩し法人税等調整額を計上したことおよび福利厚生施設の減損損失等により、前回予想を大きく下回る結果となりました。

4. 剰余金の配当について

	年間配当金 (円)				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想	—	0.00	—	125.00	125.00
今回発表予想	—	0.00	—	62.50	62.50
当期実績					
前期実績 (2019年3月期)	—	0.00	—	125.00	125.00

5. 剰余金の配当の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと位置付けており、業界における競争力を維持・強化するための内部留保、株主資本利益率の水準、業績などを総合的に勘案して成果の配分を行っていくことを基本方針としております。

2020年3月期の剰余金の配当につきましては、本日発表の上記連結業績に鑑み、期末配当金を1株当たり62.5円に修正いたします。

※ 上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想値と異なる可能性があることにご留意ください。

以上